

社会科の学習について(こんなことを学習します)



学習概要

観察や調査・見学、体験、地図や資料の活用などの具体的な活動を重視した「調べて考える」学習です。



重点目標・努力点

- ① 社会生活についての理解を深め、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てる教科です。
- ② 日本人としての自覚をもち、国際社会の中で、主体的に生きる資質や能力を育成します。

学習の仕方・工夫

- ☆地域の素材を教材化したり、地域の施設を積極的に活用したりするなど、地域の人々とふれあいのある学習活動を進めていきます。
- ☆学校図書館や公共図書館、公民館などを活用して社会事象を具体的に調査したり基礎的資料を効果的に活用したりして、学び方を身につけていきます。

評価のポイント

[知識・技能]

- ☆学習した基本的な事項について理解し、知識を身につけているかノートやテスト・プリントで評価します。
- ☆テストの資料の読み取りやノート・学習プリント・新聞づくりなどの内容や整理の仕方などを評価します。

[思考・判断・表現]

- ☆テストや発表の内容、ノートや学習プリントの内容、新聞づくりなどの活動の様子から評価します。

[主体的に学習に取り組む態度]

- ☆授業の中での発表の様子や、調べ学習などの活動に取り組む様子、見学の資料やノートなどの書きこみ内容から評価します。

こんなことをがんばろう

3年	地域の施設を見学したり、地域の人々にインタビューしたり、まとめたりする活動を通して、自分たちが生活している鴻巣市についての理解を深めましょう。
4年	図書館やコンピュータなどを活用して、調べたり発表したりする活動を通して、埼玉県 の地形や産業、発展に尽くした人々などについての理解を深めましょう。
5年	日本の工業や産業、国土、情報等に関する学習を通して、統計資料やいろいろな表、グラフなどから情報を読み取る力をつけましょう。
6年	「歴史」「政治」「世界の国々」について、学校での学習はもちろん、毎日の新聞やテレビ等からの情報に常にふれる中で、生活に生きた学習を取り入れましょう。